

# 北東アジアビジネス情報ハブー中国情報ー

(パイロット版ー②)



□ 吉林市の経済動向・ビジネス情報（発信元：吉林市商務局、2011年11月）

□ 黒龍江省の経済動向・ビジネス情報（発信元：黒龍江省商務庁、2011年12月）

□ 吉林市の経済動向・ビジネス情報（発信元：吉林市商務局、2011年12月）

2012年1月

ERINA 経済交流部

## 吉林市の経済動向・ビジネス情報

発信元：吉林市商務局（2011年10月）

---

### 吉林市の戦略的新興産業増加の勢い

---

全市における戦略的新興産業は、今年度前9カ月時点で取引高 440.2 億元に達し、前年比 40.8%増となった。

特に炭素繊維を主とする炭素繊維産業界は吉林国家炭素繊維ハイレベル産業化基地の戦略意向を受け、各々プロジェクトの建設速度を加速させており、国内外に対しその影響力を増している。ファイバー自転車はすでに下降気味である。炭素繊維原糸 5,000 トンの工場及び炭素ファイバー500 トンの製造工場は近いうちにそれぞれ稼働予定である。年度末までには原糸生産能力が 5,400 トンに、炭素ファイバーは 840 トンに、炭素繊維製品は 150 トンに達する予定であり、中国内における業界リードをなおも保持している。

情報筋によれば、戦略的新興産業の発展を加速させるため、わが市は特に「戦略的新興産業推進班」を成立させたとの事である。推進班は国家及び省政府の関連通達に基づいて『科技创新促進戦略性新興産業発展的意見』『炭素繊維産業推進工作方案』『吉林市炭素繊維百名高度人材導入育成計画实施方案』『吉林市人民政府育成促進及び発展戦略性新興産業を加速させる為の実施意見』等々の政策文書を打ちだし、積極的に取り組んでいる。政策案はそれぞれ援助奨励式、査定検査式など、企業自体の積極性を引き出しており、全市挙げて戦略的新興産業の発展促進に対する認識を共有させている。

企業の科技分野創生にかかる資金不足及び技術力不足面を解決させる為に、市科技局は中小企業の科技分野に対応する技術担保融資、重点的な領域や項目、企業別範囲を設けて、申請、申告、計画提出をさせる各優遇対応を打ち出した。現在、全市において受理した利息控除の申請件数は 18 件、融資額 2.9 億元に達しており、利息控除額は 328.2 万元となった。受け付けた 36 案件は国家科技型中小企業創生基金のプロジェクトに取り上げられ、補助資金 2,340 万元を獲得している。また全市 64 案件は省政府科技型中小企業創生基金プロジェクトに吸い上げられ、うち 3 案件は省の重大科技成果プロジェクトへの転化対象となった。

同時に、市科技局等の窓口は規模以上の企業における技術難問課題 30 を募集し、吉林大学やハルビン工程大学、長春工業大学などと協力してこの戦略的新興産業の発展に官民学の科学技術協力体制を作り上げた。この様な育成事業を行った事により、年度末までには 20 社近くの企業が規模以下の企業から、ある程度の規模以上の企業へと成長する見込みである。

戦略的新興産業の重点対象項目の確実な操業開始を保証するため、わが市指導層及び担当メンバーは保証制度を実施する事とした。中鋼江城 2,000 トン炭素繊維の第一期 500 トンと吉林炭谷の炭素繊維原糸 5,000 トンなど重点 7 案件については全面保証を行うこととした。現時点において、この 7 案件の進捗度は順調であり、うち 3 案件は年末までには操業開始となる見込みである。

現在、全市関係部署はそれぞれ 2012 年度の戦略的新興産業推進計画が着実に進むよう策を練

っている。市推進班は全市内において総投資額 3,000 万元以上となる戦略的新興産業の重点案件 50 件を募集しており、うち炭素繊維を主とする新素材生産が 10 件、設備製造 15 件、IT 産業 15 件、生物医薬品関連が 10 件である。これらの項目案件はわが市の戦略的新興産業の持続的発展に対し確実にその潜在能力と底力を示している。

---

吉林省委常務委・黄燕明組織部長

吉林市内で家庭サービス業務を視察・指導

---

9 月 28 日、委常務委の黄燕明組織部長は省政府組織部、商務庁、金融庁、文化庁、発展改革委員会等の部門を組織して、吉林市内へ繰り出し、家庭サービス業の実態を視察・指導した。

黄燕明部長一行は市政府委員会の張曉霽書記ほか関係者の案内を伴って、吉林省家庭サービス業のネットワークセンターを訪れ、吉林家庭サービスセンターを視察した。

黄部長一行はまずビル 1 階の事務棟及び体験棟に立ち寄り、提供商品の実体験並びにエクササイズ演技を見学した。続いて 2 階にあるアナウンス室や管理事務所で、詳細に渡り吉林市の家政サービス業の成り立ちや吉林家庭サービスセンターの運営状況について質疑応答を行った。また責任者による業務報告を受けながら関係者との座談会も実施した。

省政府指導者一行はこの「易盟方式」（政府援助と市場原理の結合方式）を肯定評価する意向を表明し、この易盟集団によるやり方での家庭サービス業発展への道筋は特色に満ちた家庭サービス業の体系確立であり、経験によるシステム化であると評価した。

2010 年 7 月、商務部から全国初となる家庭サービス業テストモデル都市の一つとして指定を受けたことをチャンスと捉えた吉林市は、方法を刷新し、資源を統合して、吉林市家庭サービスネットワークセンターを設立した。この「センター」は吉林市政府が手掛けた家庭便民プロジェクトの一環であり、その業務内容は 10 大系列、69 小項目の基礎家政業務を提供する産業である。このセンターの創立以来、絶えず全省内の家庭サービス分野の拡大を促進し、一般庶民の生活関連サービス業として第一人者を担ってきた。「センター」には 24 時間体制による 95081 ホットライン（救護コール）とネット [www.95081.com](http://www.95081.com) があり、いつでも顧客に対応する予約、情報サービス、家庭介護、買い物、家庭連絡等の全面型サービスの提供を可能にしている。「誠実、便利かつ早く、安全安心、標準規格のある」サービスで顧客満足度を詳細に渡り追求している。現在、核となる業務を対象とする加盟企業は 3,200 社、延べ 5 万余人の雇用を確保し、累計交易额は 3.6 億元である。ホットライン 95081 は 1 日平均 1,000 回余りを数え、ネット検索回数は 1 日 50 万回を突破しており、地方における家庭サービス業の発展に絶大なる貢献をしている。

黄部長は、「吉林市が家庭サービス業界に対してなされた仕事は庶民の消費生活への需要に対応して満足されており、実用的である。現在、家庭サービス業界は大変な人材不足状況にあり、まだ多くの質の高いサービス人員と管理者を必要としている。この事から、吉林家庭サービスセンターがより早く企業成長を成し遂げ、出来るだけ早くこの良き仕事モデルを全国各省、各都市に展開する事により、全省の人がこの実用的で良きサービスを受けられるよう希望する」とコメントした。

---

企業情報：吉林省巧婦制衣有限公司

---

吉林省巧婦（賢い嫁）制衣有限公司は 1988 年 10 月創立。メリヤス下着を専門とする製造会社であり、固定資産額 1,300 万元、流動資金 820 万元、従業員 320 人、年産高 300 万枚・4,000

万元を有する企業である。

主要商品は、文化シャツ、綿ズボン下、子供上下服、成人上下服、麦飯石健康下着及び靴下類等で、広く全国 20 数省都市地区に販売され、遠くは東欧、西欧、北米、東南アジアなど 30 数カ国に及び販売されている。

当会社商品はすでに欧州におけるエコ商品輸出認証を得ており、「巧婦」登録商標はすでに吉林省の著名商標として認められている。生産された商品は「ブランド商品」「合格商品」「顧客満足商品」として吉林省技術監督局により「消費者満足商品」として承認されており、日本市場への進出開拓を希望している。

---

#### 企業情報：吉林市天宇電力科技有限公司販売ネットワーク総公司

---

美しい松花江湖畔に位置する古き江城村は、新しい近代化工業都市として広く有志らに対し、わが村と共にこのハイレベル技術商品の結晶を享受しようと呼びかけている。

吉林市天宇電力科技有限公司販売ネットワーク総公司是 1988 年創立、科技研究、生産、販売・技術一体化した実力ある企業である。200 名近くの社員のおよそ 80%が高専以上の学歴を有し、3分の1以上の従業員が 20 年以上の機器検査業務において豊富な経験を持っている。

吉林大学通信行程学院、東北電力学院は長きに渡りわが社と共同で新商品開発を行っている。弊社は、完結した管理形態と規範となる近代化システムを基に近代化した研究開発と生産体制、設計技術、電装デパック技術、老化実験システムを持っており、会社のため終身的に惜しまず技術提供してくれる熟練技術者たちがおり、検品検収、実験をしてくれる。

2003 年度、“添羽”印の商品は、光栄にも吉林省政府奨励ブランド商品に指名された。

近年来、市場拡大及び販路を広げる為にわが社は青島に子会社を登記し、また北京、煙台、安徽、蘭州にそれぞれ事務所を設置、商品は全国広く 30 数省、市、自治区までにゆき渡っている。企業のモットー：品質追求による生存、信用による発展、民族工業の新興と近代化に貢献するのみ！（<http://www.jlsty.com>）

---

#### 企業情報：吉林市森泉牧業有限公司

---

会社は東北地区の吉林省吉林市に位置し、食用菌類が主な経営範囲である。現地農家との共同投資で「吉林市野孚牧業專業合作社」を設立し、吉林省蛟河市に食用菌類生産基地を建設した。

科学的、標準化、近代化、データー化の管理を実施して、Tech-BIA（生命学情報システム）を基準としつつ、“三安公司”が創生した生物錠剤生産の安全方式を採用した生産モデルで生産を行っている。化学肥料、農薬を使わず、生物農業方式を取る事によって、生産基地の超衛生化を実現し、食品の高度な安全性を保っている。残留農薬がなく、有害化学物質のない「残留物ゼロ」の有機菌類食品——「生命泉」ブランド食用菌類を作り上げた。

当社の菌商品は日本の低残留農薬基準「食品内における科学物質残留限量」の数値を満たしており、欧米諸国の「ユーロ圏食品内の農薬残留限量」基準、及びわが国現行の《GB/T196.31-GB/1963.4》有機食品品質安全基準に符合している。現時点では世界における最高品位の有機菌類食品であり、食用菌類の安全性においては世界首位に位置している。

当社は“品質第一”“信用第一”を経営理念としている。世界に誇る品質第一の“超有機”食用菌類食品を広く消費者の皆様に提供し、信用第一というビジネス姿勢を経営する立場にいる者達に広く知らしめたい。熱意ある各界の友人のご来訪をお待ち申し上げている。

## 黒龍江省の経済動向・ビジネス情報

発信元：黒龍江省商務庁（2011年12月）

---

### 鶴岡市 ロシアに対する“大通道”に着手

---

夢北地区はロシア国境に接する河の冬季凍結街道を年内にも開通予定

鶴岡市の在ロシア企業が州の特設緑色通行証を取得

国外におけるマンガン鉱資源採掘重点事業が年内にも批准許可される見込みとなり、鶴岡市のロシアに対する“大通道”開通が初めて実行される事になる。現在、全市がロシア・ユダヤ自治州において展開している経済相互協力プロジェクトは19項目に上り、黒龍省で最も多い。（黒龍江日報11月1日）

---

### 牡丹江 2011年度重点産業協力懇談会が上海で開催

---

上海東北経済文化発展促進会、上海建材集団、上海宝鋼集団、上海愛家集団等150余数の企業責任者がこの懇談会に参加した。この上海懇談会が開催された事によって、牡丹市と上海等沿海地区の経済貿易面・交流及び協力体制がより一歩深められ、地元の積極的な産業移転、産業奨励推進3年攻撃事業により、確かな基礎を築くこととなった。（黒龍江省商務庁簡報2011年11月2日）

---

### 牡丹江市の外来投資企業協会は11の業界分会を設立

---

10月21日、牡丹江市の外来投資企業協会は第二回理事会を開き、機械分野、化学工業、医薬品、木工、建材、貿易、新エネルギー、農副産物分野、更には対ロシア、香港・台湾・マカオ、日本・韓国など11の業界別分科会を設立して、それぞれに分会の会長、副会長、秘書長を選出した。牡丹市外来投資企業協会の成立は、企業協会の完全かつ順調なる運営体制に役立ち、企業へのサービス及び政府との接触や企業誘致に重要な意義をもたらす事となる。（黒龍江省商務庁簡報2011年11月2日）

---

### 雨潤東寧綏陽きくらげ産業集群プロジェクトの生産投入

---

江蘇省雨潤集団の5.8億元の投資による雨潤東寧綏陽黒きくらげ（山産）産業集群交易区の642交易販売所が全て供用開始へ。交易区の建築面積は10.5万平米、加工工場、貯蓄蔵、物流、電算機部門に情報発信、品質検査、観光農業等の各効能が備わる。

現在、綏陽黒きくらげ大市場全体はすでに集群交易区内に移転しており、入居企業数は460数社となっている。この集群交易区はやがて全国ひいては全アジア地区にゆき渡る黒きくらげ交易の集荷、加工、販売の一体とした産業化、近代化、集中化に掛かる総合的な役割を果たす事になる。（黒龍江省商務庁簡報2011年11月2日）

---

### 五大連池市緑州商貿城総合開発事業は準備の終盤に

---

五大連池市緑州商貿城総合開発事業は、ハルビン商談会での成立プロジェクトである。全面積

40ヘクタール余りの商業ビル建設で、ホテル部門、交流広場及び学校等が含まれる予定。現在、法人登録の準備に入っており、規模や経営内容、申請、許可及び土地利用等の関連手続きに続き、この年末までには前期準備を完了させた上、来年4月までに着工させたいとしている。完成後の五大連池市は明らかにわが省にとって重要な観光地となり、観光客の受け入れ能力及びサービスレベルを引き上げてくれる事となろう。(黒龍江省商務庁簡報 2011年11月2日)

---

#### 農業の結晶、克山じゃがいもがスーパーに登場

---

11月1日午前、克山馬鈴薯のハルビン大潤スーパーマーケット進出調印式が克山県政府と大潤スーパー万達店との間で交わされた。商務庁は引き続き黒龍江省における「農産物進出事業」を推進し、わが省のジャガイモがさらなる販路を広げられるよう働きかけ、黒龍江省馬鈴薯の輸出、加工付加輸出型モデル基地の建設を積極的に促進する。日本や韓国、ロシア等の国や地区向け馬鈴薯及びその商品の輸出ネットワークや国際市場の開拓となる。(黒龍江省商務庁簡報 2011年11月4日)

---

#### わが省の林業プロジェクトが義烏で企業誘致

---

わが省の林業部門の誘致会が1日、浙江省義烏市において開かれた。このたびの誘致会では、わが省の林業関連の資金募集誘致項目が70余件ある。わが省の林業庁指導者は会議において重点的に長寿山国家級森林公園、ハルビンの森林商品、ブルーベリー、五洋松の実に関する大きな案件を紹介した。わが省の独特な資源やその潜在ある発展性は、現地の業界各界人の関心を集めていた。省林業庁は浙江省の実業家たちに熱意ある招待状を送った。林業大省として黒龍江省にはマーケットがあり、資源もある。浙江省および義烏市の企業家達が黒龍江省に関心を寄せ、黒龍江省において是非ビジネスチャンスを手にし、共に発展しつつ双方が成功を収める事を望む。(黒龍江日報 11月3日)

---

#### 第6回文化博覧会開幕 わが省の観光地建設

---

9日、第6回中国北京国際文化産業創設博覧会が北京で開幕された。わが省代表団は「文化融合の発展加速と促進」をメインテーマに展示。その内容は文化面の開発と融合を主なものとし、科技開発、観光開発及び資本誘致による重点的な文化産業の開発創生に力を集中させた。このたびの展示ブースにおいては特に中央企業へのアピール項目として鏡泊湖、ジャロン自然保護区など13の名所観光地の建設案件を展示、同時にこのたびの文化博覧会において文化産業の開発商談が成立するよう仕向け、各案件と資本投資との引き合わせをする取り組みを行った。(黒龍江日報 11月10日)

---

#### 伊春市 湾岸6カ国に対し観光アピール

---

19日昼、伊春市の政府代表は北京において湾岸アラブ6カ国の中国駐在大使と会合を持ち、伊春市の観光資源及び観光開発案件をアピールして投資商談を進めた。このたびの会合において伊春市は、地元の観光を紹介するとともに更なる観光開発の領域を模索する商談も実施した。共同で森林浴等にかかるスパや健康ランドセンター「アラブ城」等の関連事業建設について話合った。(黒龍江日報 11月20日)

---

### わが省の牧畜業が競争力増す

---

現在、わが省の大型牧畜業においては90%以上がすでにIT化を実施しており、ネットからの情報収集・技術収集はもはや業者の必須の経路となっている。省牧畜獣医局は全牧畜業にかかわるデータを整理掌握し、すでに全省内の牧畜業に関する情報をデータベース化しており、広く牧畜獣医業界の技術情報ネットワークを豊富にしている。デジタル化された情報をより深く牧畜分野に融合させ、産業の発展成長と牧畜農家の収入増に役立つ武器にしている。(黒龍江日報 11月28日)

---

### 香港との経済協力を促進 香港青年実業家が経済園を視察

---

わが省と香港地区の経済協力関係をより一層押し進めるため、今月28日、省の党委員会と青年連合会は共催で香港青年実業家の龍江経済園区の視察会を開き、黒龍江省の産業について広く紹介した。この会において、香港青年実業家代表団メンバーらは省商務庁、省農水部門の関係者らとそれぞれ医薬関連、绿色食品や金融に関わる案件について商談を交した。(黒龍江日報 11月29日)

---

### フランス甜菜集団がジャムス進出を予定

---

ジャムス市政府代表団はパリで開かれている「北京中国フランス農業食品商談会」に参加した。記者会見の場で、フランス甜菜技術研究院とフランス晶体連盟製糖業協会と共に今後は多方面に渡り相互協力する見解を発表した。フランス甜菜集団はいずれジャムス市に甜菜糖業のモデル基地を建設する予定だという。

欧中連合商会とフランス農業部の共催による「中国フランス近代農業食品技術協力商談会」が11月29日-30日に北京で開催される。ジャムス市の製糖業及び食品加工業の対フランス進出を促進させるべく、大会では特にジャムス市のために会場での特別推薦商談の場が設置される。会期中、フランス農業部大臣は132社の農業食品協会の関係者及び200余名のフランス農業食品加工企業の代表を同行参加させる予定で、ジャムス市の外資誘致、対海外貿易に新たな展開が期待される。(黒龍江日報 11月7日)

## 吉林市の経済動向・ビジネス情報

発信元：吉林市商務局（2011年12月）

---

### 吉林市對外労働派遣サービス基地が成立

---

12月1日、吉林市對外労働派遣サービス基地が正式に成立した。これにより、わが市の對外労働人材派遣の分野が全体をカバーできることになり、国外労働に出かける労働者の合法的な権利がより有効的に守られることとなった。

当日午前、吉林市對外労働派遣サービス基地が正式に看板を掲げ、ホテル世紀大飯店において成立式典が行われた。式典において派遣サービス基地は省、市にわたる10社の對外労働人材派遣業者と契約を交わした。

国家商務部合作司貿易輸出部門の肖文生参事官、省商務庁の霍玉副庁長、房立群副市长など指

導者らがセレモニー及び調印式に立ち会った。

市商務局の関係者によれば、吉林市对外労働派遣サービス基地は全体的な業務を集約して、推進、保障、規範や管理を一体化した政府公共機関であるという。外国に派遣された者と対外派遣する企業に対し無償で政策コンサル業務、就職指導並びに付帯サービスを提供するとともに、派遣業者と労働提供者との契約内容が合法的に契約されているか否かを監督し、帰国後の被派遣労働者に対する助言や就職等を行うとの事である。

情報筋に基づく理解によれば、近年、わが市の対外労働協力事業は社会における就労難や農村余剰労働者の余剰解消、住民の増収など多方面において積極的な役割を果たしてきている。

現在、わが市の対外労働派遣業務はすでに東南アジア、東欧、アフリカ、中東など 20 数カ国に及んでおり、累計派遣労働者は 10 万人余りに達している。

しかしながら、違法による人員募集や対外人材派遣業者によって誘発された外国への派遣関連の労働紛争も増加の傾向にある。

違法なヤミ派遣業者を制止する為に、わが市では「吉林省人民政府の海外労働紛争と突発事件に対応する実施意見」を制定し、その基本に則り積極的に対外労働派遣サービスの受け皿拠点を整備している。まずは舒蘭市、盤石市を全省の社会実験対象地（市）に指定して、それぞれ 2011 年 8 月までに対外派遣労働サービス拠点を成立させた。このほか、わが市の関連部門は対外人材派遣業界に対し再度にわたる取り締まりを行い、各種の対外人材派遣行為に対する打撃を加えた。

「北東アジアビジネス情報ハブ」に関するご意見・ご質問は、下記までお寄せください。

ERINA 経済交流部 佐藤、穆

Tel: 025-290-5545

E-mail: [businesshub@erina.or.jp](mailto:businesshub@erina.or.jp)